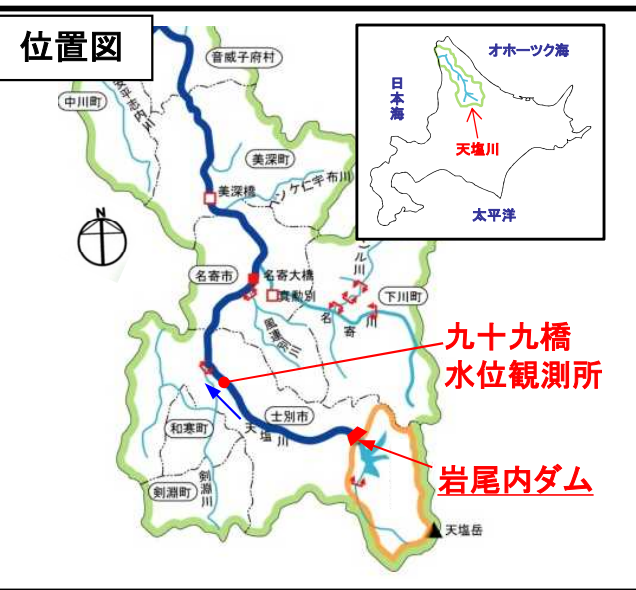


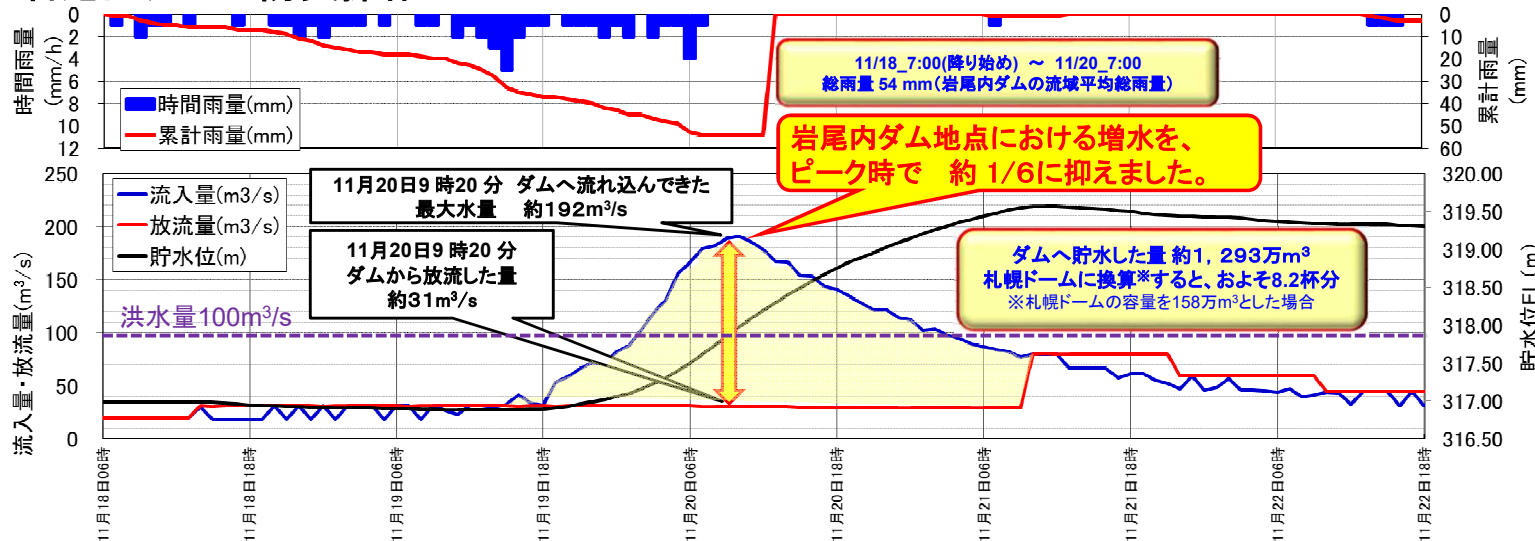
ダム整備が効果を発揮(北海道 岩尾内ダム) (国管理)

- 令和2年11月20日、岩尾内ダムでは、温帯低気圧に伴う降雨により洪水量を超える流入量を観測。
- 岩尾内ダムの防災操作によって、ピーク時の水量を約1/6に抑え、下流河川の水位低減を図り、下流の士別市(九十九橋水位観測所)では、水位を約0.79m低減させる効果があったものと推測されます。
- 仮にダムが整備されていなければ、氾濫注意水位*に迫る出水となったことが想定されます。

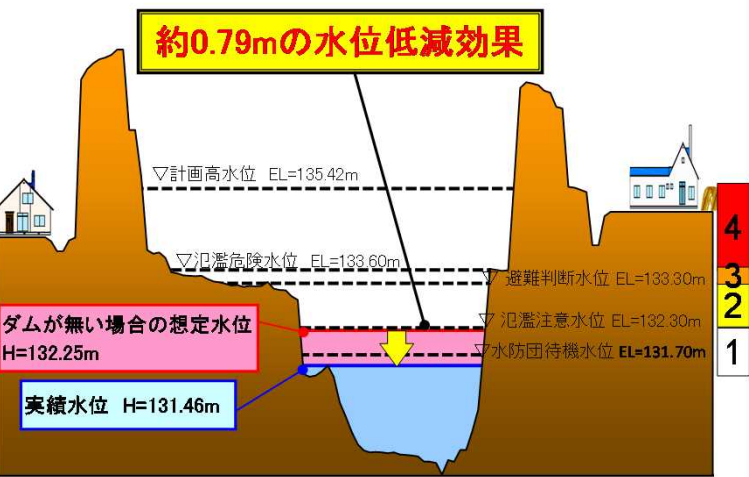
※氾濫注意水位：川の氾濫の発生を注意する水位



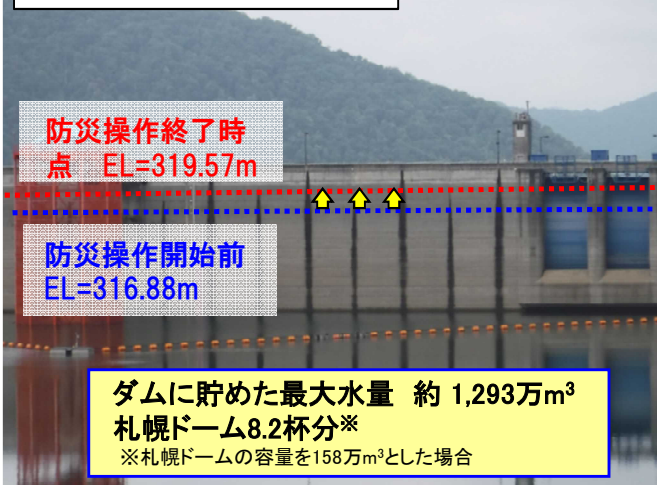
岩尾内ダムの防災操作



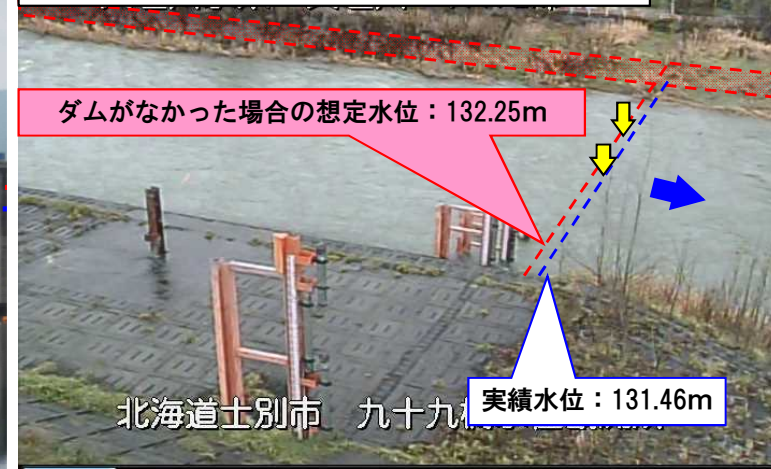
九十九橋水位観測所地点における水位低減効果



岩尾内ダム貯水状況



天塩川 九十九橋水位観測所付近



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。